

# UC-1 Engineer's Suite 積算 Ver.10 Upgrade

連携により積算を簡単サポート

**Standard**  
¥660,000  
(税抜¥600,000)

**Lite**  
¥330,000  
(税抜¥300,000)

建設物価更新費用  
(2年目以降)  
**Standard** ¥330,000  
(税抜¥300,000)

**Lite** ¥132,000  
(税抜¥120,000)

Windows 10/11 対応

電子納品

体験セミナー

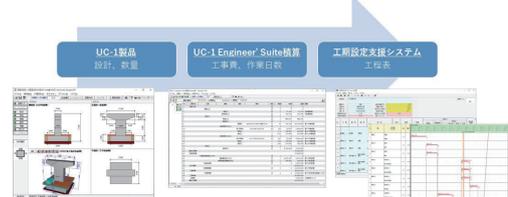
積算に必要な基本的な機能を用意し、弊社独自の機能として連携を意識し、連携・簡単・サポートをコンセプトに製品開発を行いました。

## 【国土交通省土木工事積算基準】

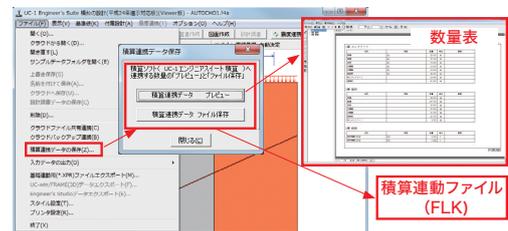
- 請負工事費は、工事価格、消費税、工事原価、一般管理費、直接工事費、間接工事費、共通仮設費、現場管理費で構成
- 各費用はメイン画面に構成を表示、一目でその内訳がわかる仕組みを用意
- 一般管理費<sup>\*</sup>、イメージアップ費<sup>\*</sup>、現場管理費は、基本条件での設定条件を元に内部計算(※直接指定も可能)
- 単価検索(データベース)から直接工事費に必要な項目(施工単価、基礎単価、施工パッケージ型)を選択、積算本体へ転送を繰り返し、経費を積み上げる流れ
- 最新の国土交通省土木工事積算基準および国土交通省土木工事標準積算基準書に対応
- 工期設定支援システムへに対し、本機能で算定した日当り作業量の情報を付加した「工程計画情報CSV(簡易版)」のエクスポートにも対応



## ▼UC-1製品-積算-工期設定支援システム連携



## ▼橋台の設計から数量を連動する場合



## 【施工パッケージ型単価】

- 土工、共通工、コンクリート工、河川海岸、河川維持、砂防、道路舗装、道路付属施設、道路維持修繕、共同溝、橋梁の工種対応
- 標準単価は東京地区における基準年月日の施工単位当たりの単位なので、地域・時期の違いで補正し、積算単価を算出
- 標準単価から積算単価への補正は、各施工パッケージの機材材構成比(標準単価に対する機械経費、労務費、材料費、市場単価の金額構成比率)で算出

## 【設計書の取込み】

- 各都道府県の「設計書」のフォーマットに合わせて工事区分・工種・種別・細別・規格の名称・数量を入力、取込み

## 【電子納品対応(エクセル出力、PDF出力)】

- 積算を行った結果をエクセル形式、PDF形式、ワード形式等の媒体に変換

## 【クラウドバックアップ】

- 指定されたスケジュールで自動バックアップ

## 【単価検索(データベース)】

- 建設物価調査会「月刊 建設物価、季刊 土木コスト情報」、経済調査会「月刊 積算資料、季刊 土木施工単価」掲載単価の平均値・最安値に対応(⇒基礎単価)
- 施工単価、施工パッケージ型単価も同様に積算本体へデータ転送可能
- 単価は年間4回(10月、1月、4月、7月)更新、47都道府県の単価に対応
- Lite版は単価データベースの提供都市、工種の限定版

## 【概算工費】

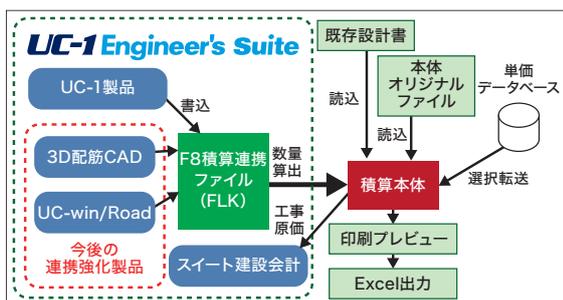
- 簡単な条件を選択することで自動的に橋梁や道路構造物の概算工費を見積ることが可能
- UC-1製品連動により諸条件入力も省略可能

## 【作業日当り標準作業量】

- 「令和5年度作業日当り標準作業量」、「国土交通省土木工事標準積算基準書」(赤本)に規定される日当り作業量の算定に対応
- 入力画面および総括表出力時に、歩掛に基づいた日当り作業量および該当工種における作業日数を表示・出力

## 【UC-1 Engineer's Suite 構成製品との連携】

- UC-1 Engineer's Suite の設計で用いた材料(コンクリート、鉄筋、型枠など)の諸情報の数量を取込み、単価を結びつけて積算がスムーズに可能
- 各製品からの数量はプレビューで確認、積算連携ファイル(FLK)も出力可能



## Ver.10 改訂内容

2023年10月31日リリース

1. 最新の作業日当り標準作業量に対応
2. 最新の国土交通省土木工事積算基準および国土交通省土木工事標準積算基準書に対応
3. 概算工費の機能拡張

## ▼比較プレビューに施工日数を追加

